

結 論:

NHおよびCBAの血清胆汁酸の分析の結果、両者でCholic acidおよびChenodeoxycholic acidの一沈胆汁酸の著増が認められ、C/CDCは、CBAで全例1.0以下であり、その診断的意義が示唆された。なお、Lithocholic acidの特異的増加は血清では認めなかった。

今後、尿中胆汁酸、特にその硫酸抱合分画の分析を進め、病因との関わりを明らかにして行く予定である。

文 献

- 1) Clayton, R.J.: J. Pediat., 67; 1025, 1965.
- 2) Morrissey, K.P.: Surgery, 74; 116, 1973.
- 3) Hanson, R.F.: J. Clin. Invest., 56: 577, 1975.
- 4) Jenner, R.E.: Lancet; 1073, November 29, 1975.

新生児肝炎および先天性胆道閉鎖症におけるサイトメガロウイルスの関与について

東北大学医学部小児科教室

今野多助

国立仙台病院ウイルスセンター

沼崎義夫

新生児肝炎(NH)や先天性胆道閉鎖症(CBA)の病因は、いまだ不明であるばかりでなく、両者を同一病因とする説もあるのが現求である。しかし、NHのウイルス感染を示唆する成績も少なくなく、その解明には、更に詳しいウイルス学的検索を必要とする。

我々は¹⁾すでにNHの一部はB型肝炎ウイルスの関与があることは報告してきたが、NH全体を説明できないのも事実である。

サイトメガロウイルス(CMV)がNHの原因とする成績も報告されているが、その自然感染との鑑別が困難であり、その病因的意義は明らかでないのが現状と考えられる。特に、その血清診断のみの成績はその有意性は認め難いものと思われる。

今回、我々はNHおよびCBAの尿中CMVの培養と、新しく開発した方法で早期抗原に対する血清抗体の検索を行い、その診断的意義を高めた。方法は省略するが、検索結果は表1に示した通りである。即ち、尿中にCMVが検出されたものは、CBAでは4例中0、NHでは5例中3例あり

表1 先天性胆道閉塞症および新生児肝炎における尿中CMV分離

	Case	Sex	Age	CMV Isolation	EA	LA-M
Congenital Biliary Atresia						
	1	M.K.	F	63 days	N.D.	10
	2	M.I.	F	53	No	N.D.
	3	Y.U.	F	37	No	10
	4	D.M.	M	66	No	10
Neonatal Hepatitis						
	1	T.S.	M	76	Yes	160
	2	H.H.	M	80	Yes	80
	3	Y.Y.	M	97	No	10
	4	M.M.	F	116	Yes	40
	5	S.S.	F	70	No	10

N.D. : NOT DETERMINE

った。両者に明らかな差が認められた。血清抗体は、CBAでは早期抗原(EA)に対する抗体、late抗原(LA)に対する抗体のいずれにも上昇はみらず、NHではEA抗体の上昇が尿中CMV陽性の3例で顕著に認められた。即ち、NH3例のCMV感染の事実が示唆される。

以上の事実はNHの一部にCMVが関与していることを示すもので、今後更に多数例について検索を進め、病因の解明と診断、治療およびその予防方法を確立して行きたい。

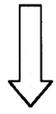
- 1) 今野多助：臨床科学，9；297，1973。

小児の難治性肝疾患の病因，早期診断， 治療に関する研究 — 病因に関する研究

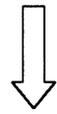
都立駒込病院感染症科

南谷幹夫

小児の難治性肝疾患として、新生児肝炎、先天性胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症があげられるが、その病因については明らかではない。有力な病因論として先天感染が考慮され、殊に新生児肝炎と先天性胆道閉鎖症とは同一病因としてサイトメガロウイルス(CMVと略す)が注目されている。新生児肝炎はCMVのほか、ヘルペスウイルスも原因となりうるが、先天性胆道閉鎖症の成立原因



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



新生児肝炎(NH)や先天性胆道閉鎖症(CBA)の病因は、いまだ不明であるばかりでなく、両者を同一病因とする説もあるのが現求である。しかし、NHのウイルス感染を示唆する成績も少なくページその解明には、更に詳しいウイルス学的検索を必要とする。

我々は1)すでにNHの一部はB型肝炎ウイルスの関与があることは報告してきたが、NH全体を説明できないのも事実である。